

慶應二年丁卯十月七日

家督相續書

宮島能光

早稲田大学図書館  
文書 27  
F 3







勤書

一武百石

六拾寺 字清一節在焉

一長文文化七年九月中送誦お續お作付中

一文政元年二月中 御堂海信公奉殿御給仕中

中達お勤中

一天保十四年二月中御右筆入中お作付中

お勤中内吟味方十斗年筆頭並常斗お勤中

一文久三年九月中お頭お作付中

一慶應二年三月申當夜お作付中

右通家智心末弟斗止五斗八斗御堂御給仕

以來申事斗止四斗筆頭四斗お勤中内吟味

方指斗年筆頭並常斗江戶書轉入及  
御上御出供等由及お頭斗年三人頭斗お勤

中

右通並在以上

十應日

字清一節在焉

六日

一宰相頭江信繼敬為

御用儀並在焉のり四時出御事不日父子同送

お遣り申事申事御上御出御事不日父子同送

一お遣り申事以上

十月六日

江信繼敬為



割觸頭少多う年

一近類近隣は物は心は一追へ入れ未だ知ら書は亦も傳へる

七日

一物は改め性は流れ六は代り出る并し赤い部は日は道は改め事は  
日如し小は者は心は次は山は太は部は

於は海は改め事は新し上は段は海は家は先は竹は殿は美は作は殿は御は達は  
趣

孝野三十八

一金三百足

字は鶴は一は高は太は衛は門

婦は子は然は美は

左は郎は在は島は近は年は病は身は之は書は成は法は儀は給は未は勤は海

居は之は郎は中は立は身は達

上は聞は郎は海は指は郎は之は通は嫡は子は姓は流は之は家は智は法は作は甘

海は知行は或は首は名は之は内は八は指は石は藏は下は陣は印は左は島は御は督は

以は来は五は指は八は年は御は右は守は比は指は四は年は之は内は冷は味は方は指は計

年は第は頭は沙は年は指は頭は三は年は当は出は役は沙は年は江は戸は當

時は是は八は交は御は流は出は供は給は与は友は永は勤は精は成は志は身は為

御は費は右は之は通は之は取は之は

右は早は白は海は禮は勤は以は者は聽は之は可は然は流

与は大は来は沙は殿は美は作は色は部は長は門は其は志は江は島は家は先

島は津は利は馬は宰は能は領は沼は健は取は為は少は由は頭は相は生は為

代は孫は孫は孫は山は吉は新は八は直は海は新は榮は秀は生は

窪田清忠乃片山仁中助教少見錫花 法長  
曾根敬市 組合十人頭 学館浩石之繁  
其外相組中 追々過

一 父隱指名代出禮之御達之古家先及軍能孫  
一 為知海馬廻與板高頭中相組之勢 熊夷  
之方 三河掛可徳吉片所祀吉高 石野

口上之女子島地之元

今日隱指家男能之通亦能知也  
後有氣之海島之御板之知也

十月七日

